

昭和40年城事業報告

1. 港区工業団体連合会総成大会

- 1) 日 時 昭和40年12月21日
- 2) 会 場 港区麻布公会堂
- 3) 出席者 132名(含米賀)
- 4) 次 第
 - 1 朝会の許
 - 2 大会議長選出
 - 3 議 事
 - (1) 総報告
 - (2) 施設案審議
 - (3) 昭和40年度事業計画案及予算審議
 - (4) 役員選出
 - 4 会後記性あいさつ
 - 5 役員の紹介
 - 6 米賀親許
 - 7 朝会の終
- 5) 事業計画案、予算案を原案通り可決、役員として松島徳三郎氏を会長に選出、以下副会長、常社理事、理事、監事を原案通り決定す。
- 6) 総成祝賀会～港区麻布会館

2. 総成記念“従業員激励懇談の夕”

主催 港区役所 港区工業団体連合会

- 1) 日 時 昭和41年3月4日
- 2) 会 場 港区芝公会堂
- 3) 参加者 257名

4) 内 容

- | | | |
|--------|----------------|-----------|
| 1 歌唱指導 | やまびこ合唱団 | 歌 楽 天 |
| 2 あいさつ | 港区工業団体連合会長 | 般 松 島 徳三郎 |
| | 港 区 長 | 小 田 清 一 |
| | 港区議會議長 | 宇賀禪 金四郎 |
| 3 講 演 | 医学博士 | 杉 端三郎 |
| 4 演 表 | ナンセンス・トリオ | |
| 5 映 画 | クレージーの花嫁と7人の仲間 | |

3 会 議

1) 常任理事会

- (1) 4.1.2.10 従業員の福利厚生事業について
- (2) 4.1.2.25 従業員慰安の夕
昭和41年度事業計画について
- (3) 4.1.3. 2 昭和41年度事業計画会費について

2) 理 事 会

- 4.1.1.24 事業計画・会費・その他

◎ 会員の現況

- 1 発足時の会員数 1.040名
- 2 年度末の会員数 1.045名

港区産業団体連合会の沿革（案）

■設立

当初は、港区工業団体連合会として、昭和40年12月に6団体、会員数1,040名で設立しました。

平成16年6月には、これまでの「工業振興」よりも、工業以外の業種も多く参加している状況や中小企業活性化への寄与の面から、「産業振興」というコンセプトで、港区の産業全体を支える団体へと更なる拡大を図るため、現在の港区産業団体連合会に名称を変更しました。

■歴代会長

初代会長	松島 徳三郎	第七代会長	大橋 松三郎
第二代会長	宇賀神 金四郎	第八代会長	宮島 栄
第三代会長	椎橋 寿夫	第九代会長	富田 渡
第四代会長	落合 福寿	第十代会長	萩原 得範
第五代会長	新井 繼雄	第十一代会長	坂東 和男
第六代会長	盛 輝	名誉会長	港区長 武井 雅昭

■ご挨拶

港区産業団体連合会は、昭和40年12月に港区工業団体連合会が発足してから、平成27年で創立50周年を迎えました。本会は、港区の産業団体、業種別団体及びその所属企業の事業運営上の共通の利便を推進し、健全な発展を図り、港区産業の振興に寄与することを目的として活動してきました。

現在は、三田工業会、高輪工業会、港南振興会、東京都印刷工業組合港支部、東京グラフィックサービス工業会港支部、東京都製本工業組合港支部、港区管工事防災協力会の7団体で構成しています。

これからも加盟団体の諸活動の支援や新規会員の拡充を図るとともに、各団体の強みを引き出しながら、団体同士が業種の垣根を越えた横の連携を強化できるよう、その基盤形成に向けて努力してまいります。これまで本会を支えていただいた行政機関、地域産業団体、会員企業の皆様には変わらぬご指導・ご支援をお願いします。

平成29年5月吉日
港区産業団体連合会
会長 坂東 和男